

社長 奮戦記

インタビュー特集

落ち着いた空間。オシャレな演出。そんななかで、美味しい料理を味わい、世界中の酒を楽しむ。近頃ダイニング&バーというスタイルもすっかり定着した感がある。世界の大都市、トキヨー・シティで磨き上げたセンスとコンセプトを関西に持ち込み、数々の店を展開する飲食グループも多くある。しかし、地元大阪にも洗練された感覚の店づくりで成功をおさめ、果敢にも東京勢を迎え撃とうという経営者がいる。弱冠31歳にして代表取締役、新大阪エビスカフェを運営する伊藤貴公さんだ。精悍な顔立ち、強い意志の力を秘めたまなざしはさらに大きな野望を覗んでいる。

(丹井 明)

「これは1980年代を彩ったスターたちがから90年代を意識した店。現れは消えていく。つくりです。いま40歳が、伊藤さんは大学卒業50歳の現役でいまだに、営業マンとして第脂の乗り切った人たち一線で活躍。同時に映画の若かった昔にタイム、映画制作の専門学校に通スリッパしてらって、い映画制作のノウハウはと一息ついてもらえ、その後、大手そんな店です」

地下鉄御堂筋新大阪駅 就職。社長に認められ、4番出口すぐ。交差点のれ、店長として新大阪一角、夕闇が迫ると鮮やかに、YEBISU C 「僕にとって大きなA.F.E.のロゴが浮かび、チャンスでした。会社上がる。ブルーを基調とが運営する他の店のなした店内、あの頃のアメ、こは業態が少しカンポップスが流れ、達っていましたから、大きなスクリーンには時、社長から『好きなまにに、勧めらる。こうして、

料理は本格派揃い

「料理は本格派揃い」と言われて、伊藤さんの新大阪エビスカフェも多。イマ、店の運営は映、画づくりと共通する。店の真ん中に置かれた大、ろがって、僕のイ、きな水槽には、まるで映、たりのクラゲが泳ぐ。昼、取り組みました」

「エビスカフェは以前、の会社社長から任せ、もらった形でスタートし、

Dining&Restaurant Bar 新大阪エビスカフェ
株式会社 ティー・ケイ・エム・エス
代表取締役 伊藤 貴公さん



「プロファイル (いとう・たかま、昭和51年4月27日生まれ。大阪府寝屋川市出身。企業の営業職を経験の後、映画専門学校で映画制作を学ぶ。かたわら、大手飲食グループに勤務、主要店舗の店長を任せられる。平成17年に独立。独自店舗として、新大阪エビスカフェを運営。18年姉妹店、グロリアスカフェ、オープン。19年株式会社ティ・ケイ・エム・エス設立。代表取締役。

「出張で大阪に連れられ、うして人が集まるの、たという方も多。か？ と、考え続けそんなお客さまはつぎの、

ビジネスエリート御用達

「いつも新しいアイデアを盛り込んで、新しいことに挑戦して行かなければ、店は当たらない。いフェス06(63993)3、ずれば淀川を越えてキタ、4番出口すぐ、交差点のれ、店長として新大阪一角、夕闇が迫ると鮮やかに、YEBISU C 「僕にとって大きなA.F.E.のロゴが浮かび、チャンスでした。会社上がる。ブルーを基調とが運営する他の店のなした店内、あの頃のアメ、こは業態が少しカンポップスが流れ、達っていましたから、大きなスクリーンには時、社長から『好きなまにに、勧めらる。こうして、

「エビスカフェは以前、の会社社長から任せ、もらった形でスタートし、

夢は仲間と一緒に

「夢は仲間と一緒に」といって、伊藤さんの事業は順風を受け、好調に推移している。問い合わせ、Dining&Restaurant Bar 新大阪エビスカフェ 06(63993)3 http://www.yebisu-cafe.com

ロマンチックなダイニングバー



ゆったりとクラゲが泳ぐ店内、男たちの夢が集う。

夕暮れとともにロマンチックな灯りがともる